

千葉県高等学校文化連盟写真専門部会

パネル作成の手引き

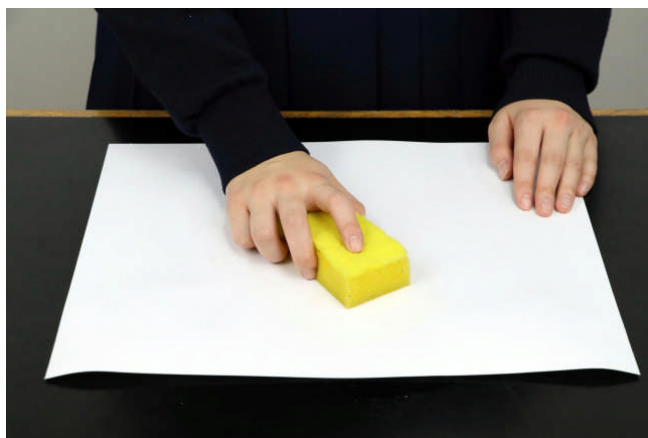
—より美しく仕上げるために—

千葉県高等学校総合文化祭合同写真展および関東地区高等学校写真展では、原則として木製パネル貼りまたはマットパネル貼りが出品規格とされています。

ここでは、比較的安価に作成できる木製パネル貼りの方法を紹介します。しかし、これはあくまで参考例ですので、各校の裁量で作成してください。



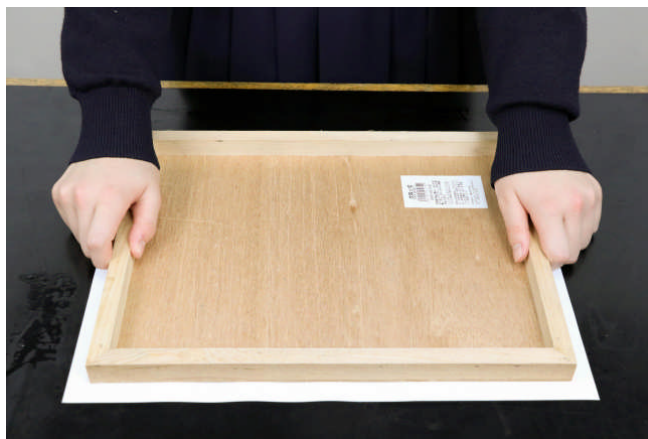
① A4 サイズの写真を貼るため、ここではカメラ量販店で購入した、A4 サイズより一周り大きいパネル（商品名：木製パネル大四ツ切 330 × 260 ミリ）を使用する。上図はパネルを裏から見たもので、角材でできた枠に板材が貼ってある。



④ 下地としてパネルに張る画用紙を膨張させるため、画用紙の裏から水を含ませたスポンジでなぞり吸水させる。



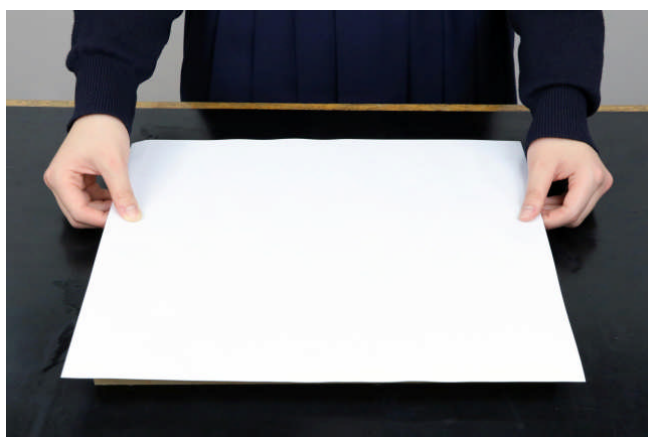
② パネルに張る下地はケント紙、画用紙またはラシヤ紙等を使用する。なお、高校の写真展では黒色の紙が多く用いられているが、特に決まりはない。紙はパネルのサイズに合わせてあらかじめ裁断しておくが、パネルの表面よりも上下左右各 15mm ほど大きくしておく。ここでは、白色の画用紙を使用した。



⑤ 画用紙の上に木製パネルを重ねる。



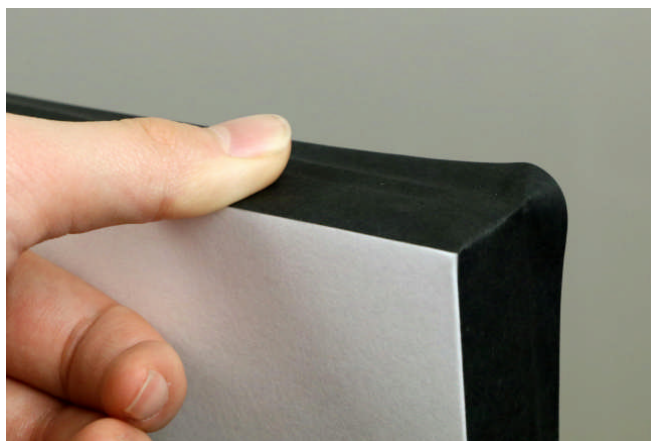
③ ほかにパネルテープ（裏に切手用の糊が塗布された紙テープ）、スポンジ、ホチキスおよびはさみが必要。他に写真用の手袋があると便利。



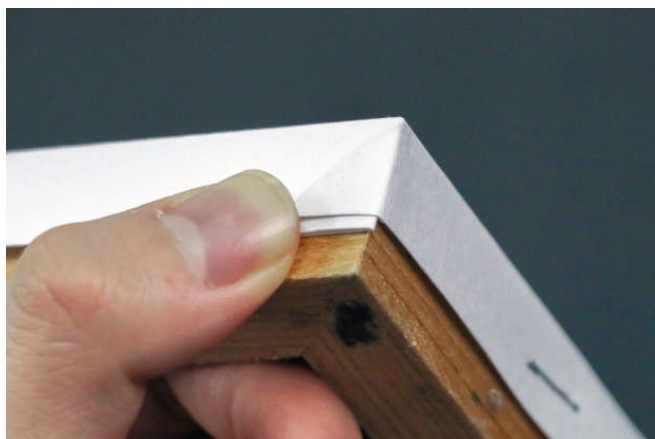
⑥ 表に返し、木製パネルの角に沿って画用紙を折り曲げる。その際、画用紙を外側に引っ張りながら、できるだけしわを伸ばすように行う。



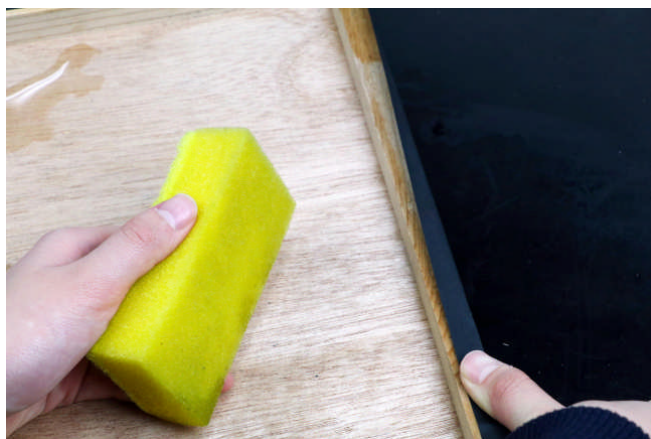
⑦ 画用紙の縁をホチキスで固定する。今回使用したパネルのサイズでは、1辺あたり3～5箇所が目安となる。



⑩ パネルテープの縁は、パネル表側の角に沿うように貼る。



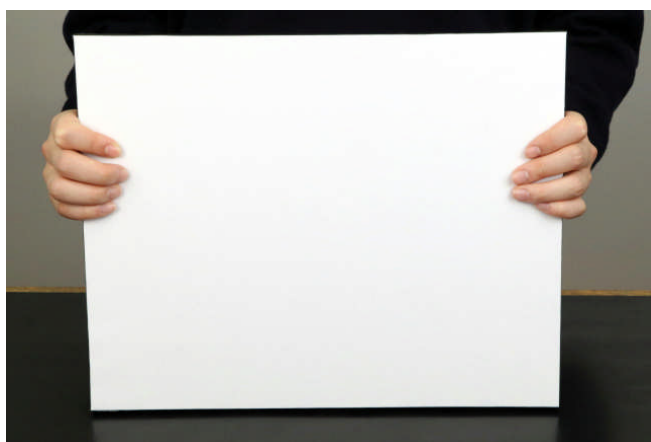
⑧ 画用紙の角は、このように折り曲げるときれいに処理できる。ここもホチキスで固定しておく。



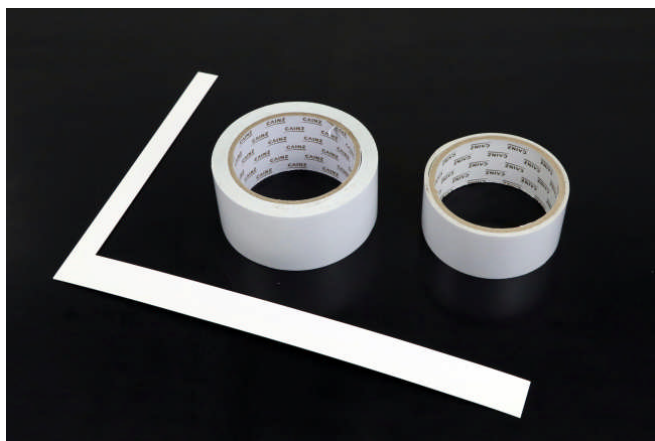
⑪ パネルテープの余った縁は、パネルの裏に折り曲げて処理する。糊が乾いて効きが悪くなっている場合は、適宜水を与える。



⑨ パネルテープをパネルの縁に貼る。その際、パネルテープは水を含ませたスポンジを使ってあらかじめ濡らし、糊が効く状態にしておく。



⑫ 画用紙が乾燥すれば表面が平滑になり、パネルの下地が完成となる。

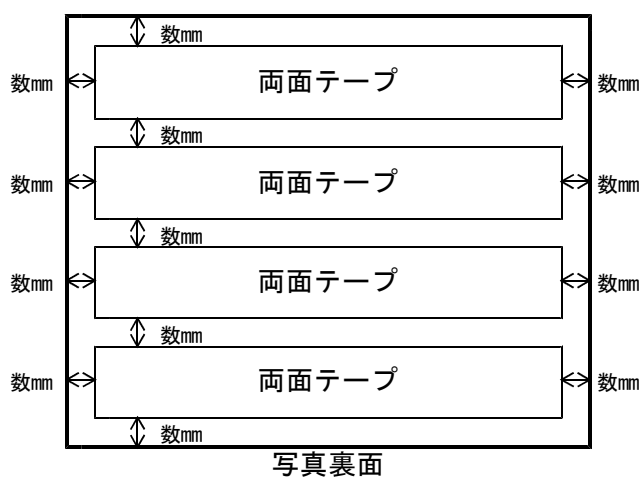


⑬ 写真をパネルの下地に貼る際には、ホームセンターで購入した幅広の両面テープを用いる。A4 サイズの写真であれば 50mm 幅の物一つで対応できるが、後述する理由により 40mm 幅の物も用意しておくで安心。

写真をパネルの中央に正確に貼る際には、L 字形の治具を用いると便利。パネルと写真の間に生じる余白の幅に合うように、厚手のボール紙で作成した。



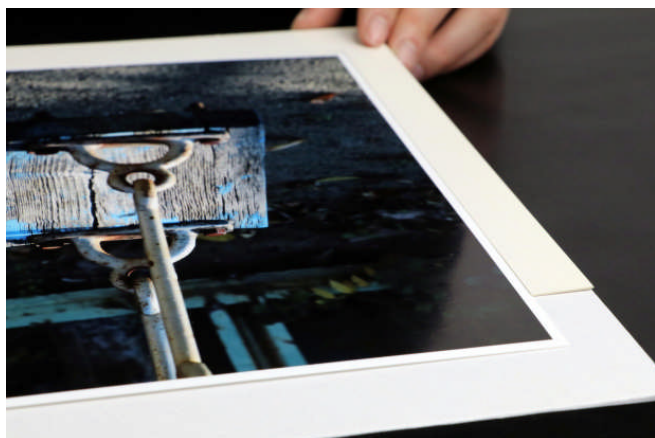
⑮ 両面テープを裁断する時は定規とカッターを用いるが、裁断によって生じる両面テープの端が写真の縁よりも数 mm ほど奥まるようにする。両面テープの下に位置する写真まで切らないように、カッターにかける力加減に注意する。



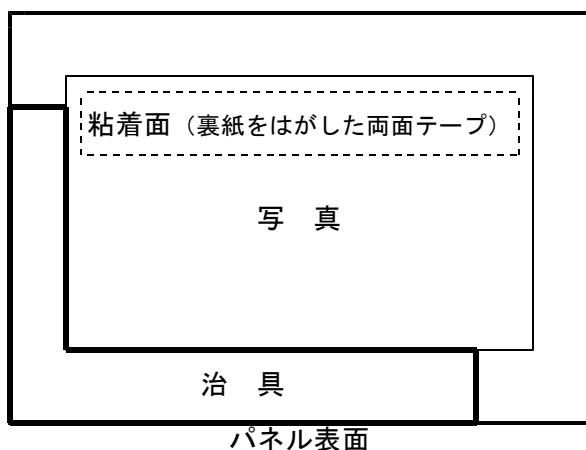
⑭ 写真の裏に両面テープを端から平行に貼っていく。この時、写真の縁に対し、両面テープの端を数 mm ほど奥まるように貼るときれいに仕上がる。また、両面テープどうしが重ならないように、数 mm ほど間隔をあける。間隔が広くなりすぎて、最後に貼る両面テープが写真からはみ出しそうな場合は、幅の狭い両面テープを用いる。



⑯ 写真の上端に貼った、1ヶ所の両面テープのみ裏紙をはがす。



⑱ 完成。



⑰ 治具の外縁をパネルの縁に合わせ、さらに治具の内側に写真を合わせる。写真の向きは、裏紙をはがした両面テープの粘着面の位置が、治具と接触する側と反対側の向きにする。

この時、粘着面がパネルの下地に不用意に貼り付かない様に、粘着面を多少浮かせ気味にしながら写真の位置を合わせると良い。

写真の位置に問題がなければ、粘着面を上から手で押しながら写真をパネルに固定する。



⑱ 残りの両面テープの裏紙も順次はがし、写真を上から手で押しながらパネルに固定していく。この時、両面テープと下地の間に気泡が入らないように、少しずつ空気を逃がしながら押していくと良い。